

# 一般質問



高村 智 議員



録画映像

## 少子高齢化対策と安全対策に関する件

**問** 津波対策で海に近い学校に救命胴衣を用意しては

**答** 総務課長  
他の自治体の導入事例を研究してまいりたい

**問** 政府は異次元の少子化対策として、経済的支援・保育サービスの充実・制度の改革を打ち出し検討を始めました。以下の点について質問します。  
(1)市は、今後の保育事業に関して、どのように考えているのか。  
(2)高齢化で一番の課題は、施設への入所が困難で、老老介護や親の介護による離職の高まり、ヤングケアラーの増加につながるかと考えますが、市としてこれからの対策をどのように考えているのか。  
(3)国、北海道、函館市、七飯町の過去5年間の出生率と北斗市との比較をし、今後の課題解決に向けた取り組みはあるか。  
(4)安全対策として喫緊の課題は、大規模地震による津波対策です。

授業時間に津波警報が発令された場合の具体的な避難路の確保に関して、各学

直近5年間の合計特殊出生率について  
(北斗市と北海道、国、函館市、七飯町)

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
北斗市	1.33	1.30	1.22	1.09	1.05
北海道	1.27	1.24	1.21	1.20	1.12
国	1.42	1.36	1.33	1.30	1.28
函館市	1.23	1.18	1.14	1.15	未公表
七飯町	1.30	1.28	1.23	未公表	未公表

(出典：子育て支援課課内資料及びホームページ等公表数値より)

**答** (市長) (1)市として、国の改善内容を注視し適切な時期に制度変更できるような対応をするともに市民ニーズに即した必要な支援を検討してまいりたい。  
(2)高齢者の在宅介護サービスを利用される方が増えたことで施設入所者は減少しています。  
しかし、在宅サービスを利用される方やご家族等が老老介護等や介護離職とならないようケアプランの作成を進め、ヤングケアラーなどは、実態把握に努めた上で適切な取り組みを進めてまいりたい。  
(3)今後、本市の出生率の向上を目指し、これまでにない新たな視点・発想も取り入れながら、子どもを産み育てたいと思える子育て環境を整えてまいりたい。

(4)授業時間に津波警報が発令された場合の具体的な避難路の確保は、市としても避難訓練に職員が学校に向いて助言するなど共通理解を深めています。  
**問** 津波対策として海に近い学校等に救命胴衣を用意すべきと考えるが。  
**答** (総務課長) 担当部局の判断もありますが、他の自治体の事例について研究してまいりたい。

## 北斗市役所の職場環境に関する件

**問** 職員の有給休暇取得率は

**答** 市長  
令和4年度は25・2%

**問** 働きやすい環境とは一概にこれと言うのは難しいですが、大事なものは、公務員試験をクリアして就職した若い職員が退職して違う仕事を探そうと考えない職場環境であることが重要だと考えます。市長就任以来の職員の有給休暇取得率を暦年別にお知らせください。  
**答** (市長) 地方公共団体の勤務条件等に関する調査に基づく実績では、平成30年が22・5%、令和元年が21・5%、令和2年が22・2%、令和3年が23・7%、令和4年が25・2%となっています。

**問** 特に若手職員や子どもがいる職員には、積極的に有給休暇をとるよう伝え、

子どもの授業参観などに行くようにしてはかがが。  
**答** (市長) 取得日数が低いというのは反省しなければなりませんので、これからも有給休暇を取得するよう職員に今以上に働き掛けていきます。



本庁舎1階の勤務状況

**問** これまでの決まりと今回のガイドラインの違いは

**答** 市長  
取り扱いに対する考え方に相違はありません

**問** これまでの随意契約に関する決まりと今回のガイドラインの違いは具体的に何かをお知らせください。  
**答** (市長) 策定前と策定後において随意契約の取り扱いに対する考え方に相違はありません。

## 随意契約に関する件